

# リアルスポーツとスポーツコミックの相関関係及び補完関係に関する一考察

## Consideration of the Positive Correlation between sports and sports comics

1K05B503

指導教員 主査 リー・トンプソン先生

中山 淳

副査 石井昌幸先生

リアルスポーツとスポーツコミックの関係において相関及び補完関係が成り立っていると仮定し様々な考察を行った。

まずこの考察を行う上で一番良い題材として選んだのがあだち充のコミックである。あだち充の「タッチ」はシニシズムを浸透させ、根性主義を過去のものとした影響力のあるコミックだとされており、他の関係においても影響を与えているのではないかと考えた。

そのため「H2」「クロスゲーム」などの作品を中心に他のあだち充作品を通して作者が何を伝えたかったのか、どのような影響を現代に与えたのかを考察している。これはスポーツの影響力だけに留まらず、ヒロイン像の変化についても調べてみた。

また一方的にスポーツコミックがリアルスポーツに影響していると考えただけでなく、スポーツコミック自体もリアルスポーツからどのような影響を受けているかも考えている。さきほどあげたヒロインの話題において、作品の年度の違いによってヒロインが行っている部活動に違いがみられた。

「タッチ」の朝倉南は新体操と野球部のマネージャー、「ラフ」の二ノ宮亜美は飛び込み、「H2」の古賀春華は野球部のマネージャー、もう一人のヒロイン雨宮ひかりはマネージャーと弓道を行っている。これらの部活動共通項は女性らしいということである。

マネージャーは女性がやるのが普通であり、新体操、飛び込み、弓道などもいかにも女性らしい。一方、女性が男性スポーツをすることが増えた2000年以降のあだち充のコミックである「KAT

SU」、「クロスゲーム」のヒロインに目を向けてみると、「KATSU」の水谷香月はボクシング、「クロスゲーム」の月島青葉は男だけの野球部の中、野球を行っている。つまり最近の2つの作品のヒロインは共に男性スポーツを行っているのである。これはスポーツコミックがリアルスポーツつまり現代の事象に影響を受けているのがわかる。これが意図的にしたものなのか、もしくは無意識的に行ったのかは作者のみにしかわからない。

それを調べるためにあだち充のインタビューを分析した。また他のスポーツコミックにおいても様々な結果が得られた。得に面白い結果が得られたのが?「おおきく振りかぶって」から見る現代スポーツコミックの変化。1)「アイシールド21」からみる新ジャンルスポーツの台頭、2)「新約「巨人の星」花形」から見る現代適応型の「巨人の星」である。これらの3つのコミックは現代スポーツコミックを代表する3つのコミックである。

この3つのコミックを読み解くことで様々なリアルスポーツとの相関関係や補完関係を発見した。「おおきく振りかぶって」では人間的な弱さを前面にだし、主人公は暗くて卑屈という今までにないコミックであるが、それが人気を博している理由の一つである。男らしさや根性主義が薄れていくなか主人公に共感を持つ人が多くなったが理由だと考えられる。またその主人公が少しずつ成長していく姿に自分を投影しているとも言える。

またスポーツを科学的に考えるのもこのコミックの特徴であり、そこにもリアルスポーツの影響力があると考えられる。「アイシールド21」では新ジャンルスポーツ台頭の影響力を測ることができる。題

材であるアメフトははっきりいって日本ではマイナースポーツであり、興味を持っている人が少なかった。その中で「アイシールド 21」の人気が出て、マイナースポーツであるアメフトにどのような影響を与えたかを考察した。「新約「巨人の星」花形」は主人公を変えた「巨人の星」である。つまり現代

適応型の「巨人の星」ということもあり、比較することで昔のコミックと今のコミックにどのような違いがあるのかがわかる。それにより、現代からどのような影響を受けたのかを理解することができる。以上のことについて考察し、纏めている。